とかち新聞

主筆 松山明

(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番

毎旬5の日発行　1部50円　1カ月150円　1カ年前納1,500円

四大学園都市の実現

足寄が有望に

十勝総合開発促進期成会(会長平野新得町長)では田中首相の構想にもとずく国立総合大学の誘致について管内の六町が名乗りをあげて〝わが町こそは適地〟として競合しているところから、このように管内がバラバラでは釧路や北見におくれをとつては大変とばかりに、とにかく十勝へ誘致することを優先前提として統一行動をとることになり、十二日から三日間にわたり十九ヵ町村の町村長や議長らが打ちそろつて道や文部省や地元選出の国会議員などに集団陳情をおこなうとともに、国立総合大学の具体的な構想や計画をたしかめてきました。

それによれば

一、基本構想

イ、研究学園都市(寒地研究をふくむ)として五万人都市とする

ロ、国際的に交流可能な学園とする

ハ、学生は全寮制とする

二、基本構想の策定について

道庁課長級をもつてプロジェクトチームを編成し現在検討中であり、十一月までに基本構想を策定し、明年度において適地を調査する

三、適地条件

イ、規模は二千㌶～三千㌶の国有地

ロ、交通の要衝(空港との関係、高速道路、国道、鉄道)

ハ、国際的交流学園なので風光明眉で山、湖水また海へも近いことなどとなつていますが、なにしろ二千五百億円の巨費を投じて山間へき地に一挙に滝川市程度のマチを出現させようというもので、しかも諸外国の留学生も大いに受け入れる国際色ゆたかな学園都市を二千㌶から三千㌶の風光明眉な国有地に建設しようというので、そのうえ交通の要衝をということになれば千才から釧路北見への高速道路の分岐点は足寄に決定しており、海に近いという点を除けば、十勝管内での候補地としては足寄しか該当しないことになるのでないかといった見方もあることです。

しかしこの学園都市は十一月までに道が基本構想を策定して明年度に該当地を調査したうえで本決まりとなるので、各地の誘致運動よりも立地条件に左右されるので、阿寒国立公園のなかでも俗化せずに自然美を保つている茂足寄地区が浮かびあがれば、足寄から路盤を築堤したままの白糠線鉄道はラワンから北見相生への阿寒線鉄道も陽の目をみようというもので、さらに阿寒町の区域へまたがる学園都市となればなおさらのことで、それにともなつて「雌阿寒山麓自然休養村」での観光農業も脚光をあびることになります。

一方、玉川学園大学の足寄町への進出は本腰となり常盤高台の農地から中矢までの町有林地帯を林科関係に、大規模草地つづきの地帯に草地、酪農関係をという構想で、このほど来町したわが国の酪農学界の権威といわれる石井幹教授も土地条件にすつかりホレこんだ形ですが、町としては単なる実習場や研究施設にされるだけではプラスにならず、地元農民の経営に活用するのが建て前なので、同大学の分校なり学部なりを設置するのでなければーとの条件をつけていることでこれにたいして同大学の農学部としては林科、草地酪農科の充実を期して現地進出を望んでいるものの、大学経営の衝にあたる理事会としては相当な経費をかけての事業となるので慎重を期して決断するものとみられます。

これに帯広畜産大学の草地酪農研究所の設置については、十勝総合開発促進期成会としてとりあげ、堂垣内知事が寒地農業確立のために中央にはたらきかけ、文部省では明後年から足寄町の大規模草地(場長には同大学の石井格講師が専任)つづきに建設を決定しており、これが三カ年で完成のあかつきは草地学部に昇格が予定されているので、これも学園都市の一角を形成することになります。

さらに町としては、すでに町内に三千七百五十㌶余の演習林をもつ九州大学の井上学長がさきほど来町したさいにも、いつまでも演習林のままでなく、なんとか年間を通じて教授や学生が在町する研究施設なり分校なりを設置するように要望したのにたいして同学長は考慮すると答えており、これにも期待をかけています。

このように、国立の九大と畜大に私立の玉川大に加えて国立総合大学をも夢ではなく、公害のない緑の学園都市の実現が有望となつてきたのは、足寄町が香川県なみの大面積をもつていて、しかも道東においての交通の要衝にあるという立地条件からといえましようが、帯広市についで十勝における第二の市に飛躍するかどうかということです。

国のうちそと

角さん北京へ飛ぶーあれだけ中国を敵視して、中国の国連復帰を妨害してきた自民党政府であつたのにー。

× ×

ニグソンが訪中し、財界がそろつて訪中することになれば、スポンサーの意向に従わなければならないこと

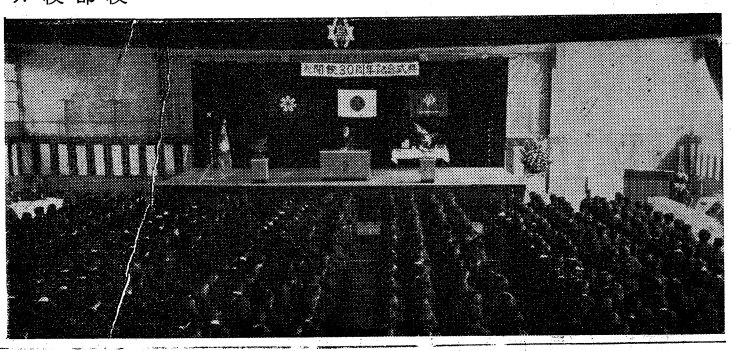
× ×

台湾が中国を代表しているかのような二十年来のウソがバレて、中国へおわびは結構だが、時の構力者は常に国民にウソをつくものであることを立証したこの姿

30年の歴史のうえに

ー本別高校の記念式典ー

戦前は帯広中学校とならんで十勝郡部ただひとつの中学校として、敗戦の一カ月前に空襲をうけて校舎が大破、教頭が殉職という戦災のあと、戦後の学制改革で高校となるや全道のトップを切つて男女共学を実施、二十七年の十勝沖地震で大被害をうけ、三十八年の火災で校舎を全焼するなど波乱の歴史のうえに五千名の人材を全管内におくり出した本別高等学校の開校三十週年記念式典は十八日午前十時から同校体育館に町内外の来賓、学校関係者、同窓生、在校生など



一千名があつまつておこなわれました。(写真)

式典は本高ブラバンドによる校歌斉唱にはじまり、物故功労者に黙禱、清水右喜雄校長の式辞、長谷川義信協賛会長のあいさつ、歴代の校長、PT会長、同窓会長、開校時の功労者に感謝状と記念品の贈呈、受賞者代表井上辰雄氏の謝辞、梅山十勝教育局長、水元町長、高校協会十勝支部長、新津二良PT会長、佐々木真理同窓会長、塩川重則生徒会長の祝辞があつて本校生斉唱によつて式典をとじ会場を町体育館にうつして祝賀会をひらき、夏川当実行委員長のあいさつ、第四代校長畠山正芳氏と佐々木同窓会長からお祝いのことばがあり、水元町長の乾杯で祝宴に入り、長谷川協賛会長による万才三唱で午後二時に散会しました。

全耕地を無許可植林

陸別に意外な事態

耕作農地の全部を無許可で植林地にしてしまつたという意外な事態が陸別町で問題となつています

この農家は同町作集の土井照雄氏で、昨年までに畑地約七㌶をふめて所有地三〇㌶の植林を完了して純然たる林業家に転換したもので、農協の組合員のままですがつくつているのはわずかに自家用野菜くらいで、本人は三光木材の従業員としてはたらいています。

土井氏は道々津別線から沢地帯に入つた山奥にあつて、約七㌶の耕地のほとんどが傾斜地で条件が悪く、苦労して育てた作物もイザ収獲のころともなれば熊にやられてしまうので、営農に見切りをつけての防衛策として植林にふみ切つたものですが、問題なのは農地法によつて農地の転用が制限されていることで、農地を農地以外のものにするには所定の手続きに従つて道知事の許可が必要で、この場合は二㌶以上なので農林大臣の許可がいるのにその手続きをへていない無許可転用ということで、三年以下の懲役または十万円以下の罰金に処せられることになつています。

農地法違反もさることながら、町としては各農家の基盤整備、経営拡大をはかつているときに、個人的な都合で農地を自由に処分したことに困惑していますがこうしたことが衆人環視のなかで堂々とまかり通つてきた農地行政の在り方も問題で、せつかく植林した現状を原形に戻すことも難しく、そのなりゆきが注目されています。

ひともめの役場人事　陸別

陸別町では二十日付でつぎのように役場人事の異動をおこないました。

△病院事務長(総務課長)坂井一△総務課長(税務課長)檜森敬二郎△税務課長(産業課長)江下広△産業課長(農業委員会事務局長)宮川寛△農業委員会事務局長(病院事務長)脇坂弘一△産業課振興係長(畜産センター)佐久間幹夫

○…昨年八月から一カ年そこそこで課長クラス五名の異動は庁内にショックをあたえたようで、特に杉田町長の原案は坂井総務課長を消防署長に、堀籠消防署長を総務課長にーだつたそうで、佐々木助役も知らなかつたこの異動の内示をうけた坂井課長としては、消防署長になれば町職員から池北三町事務組合に身分が移るのでこれには応じられないと抵抗したので、広尾町の二の舞?を演じてはとー町長も折れて病院事務長に変更したとのはなし。

○…このために総務課長には返り咲きの檜森税務課長そのあとがまに江下産業課長のタライまわし、バッテキの宮川産業課長に脇坂農委局長となつたものの、この季節はずれの人事異動はなんとなく庁内にスッキリしないあと味を残したような感じ。

国産共立新製品最軽量型自動給油装置(パック入)

造林　木工　土建一般

共立エコーチエンソー302

現金正価　49、800円

景品付宣伝売出中　連絡あり次第参上カタログ送呈

国産　舶来　各種チエンソー

造林用刈払機　刃物　電動工具

有限　大木鋸刃物店

足寄町大通り　T 2307

秋冬物衣料は近日大量入荷して参りますので是非御期待の上御来店下さい

併せてセーターまつりも行います

株式会社　前田呉服店

足寄駅前商店街　電話二〇二三番

家具　建材　アルミサッシ

既製家具から注文建具

住宅産業に奉仕する!

有限会社　桜井家具建具店

足寄町北五区　T 二三六二　工場西五区

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい

造園　土木　造林　造材　請負

有限会社　大浦建設　T 一一

足寄町芽登

連絡所　釧路スパル上原社長宅　T 四一一七六六四

帯広市　原田発宅　T 四一四六三五

芽室町関山　大野政夫宅　T 二五二二

池田町　中野直次宅　T 二一八二四六

大自然のなかの人工美

ーいで湯のふるさとー

観光と保養の　芽登温泉

足寄町芽登　T二八五五